

漢字の読み方が覚えにくいお子さん向けの漢字学習

文部科学省の2022年の調査では、通常学級の3.5%の割合のお子さんが字の読み書きが難しいと言われており、その中には漢字の読み方が覚えにくいお子さんがいます。漢字の読みが難しい場合、漢字の書きが難しくなることがあります。

筑波大学心理・発達教育相談室では、このような漢字を読み方が覚えにくいお子さんの特徴に合わせた漢字の学習方法についての研究を行っています。今回、パソコンを使って、お子さんに合わせた学習方法の効果を検証したいと思います。

ご関心のある方はご連絡ください。

【参加対象者】①～③の条件を満たすお子さん

- ①小学生のお子さん
- ②知的な遅れがないお子さん
- ③漢字を読むことに苦手さがあるお子さん
(漢字の読み書き、両方に苦手さがあるお子さんも可)



【スケジュール】

2023年4月1日～2024年3月31日の期間のうち、
週に1回（土曜日）、1時間程度の個別的な支援を複数回実施します。
10:30～11:30／13:00～14:00／15:00～16:00

【その他】

- ・時間はおおよその目安です。
- ・新型コロナウイルスに感染したり、濃厚接触者となったりした場合はお休みいただき、振り替えます。

【担当相談員】

熊谷恵子（臨床心理士・公認心理師・特別支援教育士 SV・言語聴覚士）
鈴木りえ子（筑波大学大学院博士前期課程2年）

